

議会だより

いずみざき No.66

令和7年11月1日発行

輝く未来を子ども達へ



いざ 本番!

5・6年生 (運動会)



5年生
(宿泊学習磯遊び)

「船戸 フォー!!」



本当は麦より米派です

4年生
(書写指導)



2年生
(見学学習)

仲良し ボーイス



いずみちゃん

目次

- 表紙…………… 泉崎第一小学校
- 2～4ページ…… 9月議会定例会の中身は？
- 5～11ページ…… 6名の議員が村政を問う！
- 12～13ページ…… 議会インフォメーション
- 14ページ…………… 編集後記

泉崎村HPアドレス : <https://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

令和7年9月4日～9月12日
(一般質問：9月9日)

*令和7年第3回定例会が開催され提出された認定5件、報告3件、議案12件あわせて20件を全議案可決しました。一般質問では6名の議員が登壇し村政全般について質問を行いました。

詳しい議案件名等はこちらから⇒



■ 9月定例会 条例の一部改正ピックアップ 住民票謄本の写しが世帯連記式へ 手数料は200円

住民票謄本の様式が世帯連記式となることに伴い、住民票の写しに関する交付手数料を変更する

Q 住民謄本の様式が世帯4名連記式となると、8名になって2枚になった場合、400円になるのか、そのまま200円のままなのか

A世帯の人数に関係なく、一律手数料は200円

令和6年度 決算

「各種事業の執行について十分に検討し、
一層の効率化に努められるよう強く望む」



審査の期日 令和7年8月4日～8月5日

代表監査委員 やんない たつひで 箭内 達秀氏

一般会計 歳入総額43億4,762万1,016円、歳出総額39億753万3,783円、歳入歳出差引額は4億4,008万7,233円となり、うち7,556万6,000円が繰越明許費繰越額、544万4,000円が事故繰越し繰越額、繰越額合わせて8,101万円であり、実質収支は3億5,907万7,233円の黒字となった。しかしながら円安等による物価高騰という状況を鑑みると、今後も収入の確保、経費の節減に努めながら、各種事業の執行について十分に検討し、一層の効率化に努められるよう強く望むものである。

国民健康保険特別会計 予算総額7億5,231万8,000円に対して歳入決算額6億8,645万9,607円。収入率91.2%ということで、国保税の収入未済額は9,600万円ほどあり、前年度から比べると若干減少している。今後も引き続き収入未済額の縮減に取り組んでいただきたい。

後期高齢者医療特別会計 歳入予算総額8,269万6,000円に対し歳入決算額8,378万2,401円で収入率は101.3%。前年度よりも向上しているが、保険料の収入未済額が311万円と、前年度よりも若干の増加となっている。公平性の確保という観点から、引き続き収入未済額の縮減に努めていただきたい。

介護保険特別会計 歳入予算総額7億5,406万5,000円に対し歳入決算額7億6,036万6,400円ということで、収入率は100.8%。介護保険料についても収入未済額が1,500万円ほどあり、前年度よりも増加している。引き続き収入未済額の縮減に取り組んでいただきたい。

監査意見

令和7年度は、社会経済活動が改善されているところであるが、依然として財政の負担増並びに村税等の減収が見込まれている中で、人口減少による少子化対策、高齢化等による社会保障費の増大、公共施設等の維持管理費などの負担が見込まれること。また、現下の国際情勢及び与野党逆転による国内政治の不安定など、不透明な状況が続いていることから、今後も長期的な視点に立って、より一層健全なる財政運営に努められるよう望むものである。

箭内達秀 代表監査員 長久保孝行 監査委員

令和6年度決算を認定！ 歳出決算総額39億753万3,783円

～その中身は??

令和6年度 一般会計

議会費 6,890万円 (1.8%)
議会活動のためのお金

総務費 6億6,957万円 (17.1%)
全般的な管理事務のためのお金

民生費 7億8,836万円 (20.2%)
障害者や高齢者に対する福祉の充実、子育て支援などにかかるお金

衛生費 3億9,968万円 (10.2%)
環境保全、疾病予防、健康増進などにかかるお金

農林水産業費 2億3,316万円 (6.0%)
農林業振興のためのお金

商工費 8,342万円 (2.1%)
商工業や観光の振興のためのお金

土木費 2億5,028万円 (6.4%)
道路、公園や区画整理などの事業に要するお金

消防費 1億9,143万円 (4.9%)
消防、防災事業などに要するお金

教育費 8億3,354万円 (21.3%)
学校教育、生涯教育、スポーツ振興などの事業に要するお金

災害復旧費 532万円 (0.2%)
災害復旧にあたる

公債費 3億8,387万円 (9.8%)
村の借金を返済する元金と利子などのお金

令和7年度への繰越金
8,101万円

差引額（黒字額）
3億5,908万円

歳出
39億753万円

歳入
43億4,762万円

村税など村で得たお金

国や県から得たお金

村税 12億4,241万円 (28.6%)
村民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税などの税金

使用料等 4,191万円 (1.0%)
施設の使用料など

繰入金 1億18万円 (2.3%)

繰越金 4億413万円 (9.3%)
前年度からの繰越金

その他 8,968万円 (2.1%)
寄付金など

地方交付税 13億7,976万円 (31.7%)
国から交付されるお金

国県支出金 7億4,562万円 (17.1%)
特定の事業に対し、国や県から交付されるお金

村債 4,950万円 (1.1%)
事業のために借り入れたお金

その他 2億9,443万円 (6.8%)
地方贈与税など

(千円)

(千円)			
区 分		歳 入	歳 出
特別会計	国民健康保険	686,459	635,555
	介護保険	760,366	645,967
	後期高齢者医療	83,782	79,597

区 分		収 入	支 出
企業会計	水道事業	収益的収支	206,515
		資本的収支	0
	農業集落排水・汚水処理事業	収益的収支	253,877
		資本的収支	0
	工業用地造成事業	収益的収支	2,380
		資本的収支	0
	住宅用地造成事業	収益的収支	26,657
		資本的収支	0

収益的収支：一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する全ての収益と費用

資本的収支：建物・施設の建設といった支出の効果が次年度以降に及ぶものや企業債の元金償還などの費用と、その財源となる収入

令和6年度 重点事業内容(抜粋)

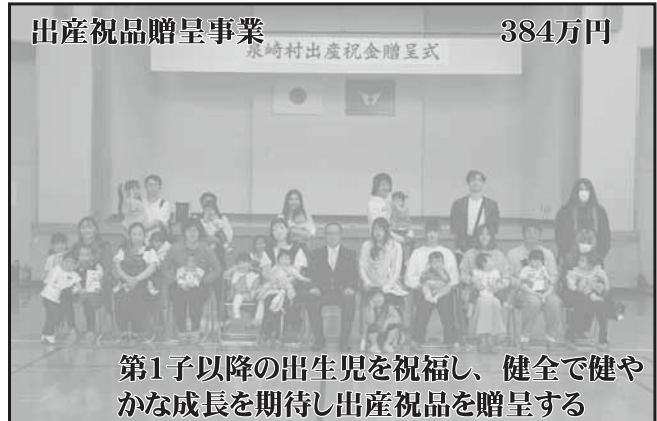
村道新田・矢吹線舗装補修工事



4,789万円

出産祝品贈呈事業

384万円



第1子以降の出生児を祝福し、健全で健やかな成長を期待し出産祝品を贈呈する

高屋堰更新工事

1,000万円

(高屋堰ゲートの老朽化により更新工事を行う)

駐車場整備工事

1,121万円

(保健福祉センターの利用者の駐車スペースを確保し利便性を向上させる)

泉崎村地域防災計画改訂業務

514万円

(泉崎村地域防災計画を改訂する)

非常備消防費(消火栓ボックス内のホースの経年劣化により3年計画で更新する事業令和4、5、6年度で村内全体の更新を行う) 399万円

消防施設費(火の見櫓の撤去及びホース乾燥柱の設置を行う)

- ・第3分団3部(桧内)
- ・第4分団1部(新田)
- ・第4分団3部(山寺)

1,196万円

敬老祝金支給事業



545万円

(75歳以上の高齢者に対する祝金: 1,089名分)

診療所建替基金積立事業

9,000万円

(建替えに向けて基金を積み立てる)

家族介護慰労金支援事業

165万円

(要介護4・5の在宅高齢者を介護している家族に慰労金を支給)

出産・子育て応援事業

374万円

(妊娠期から出産・子育てまで身近な伴走型の相談支援と経済的支援を実施する)

給食費無償化事業

4,627万円

(給食費を無償化し、子育て世帯の経済的負担を軽減する)

新入学中学生祝品贈呈

92万円

(村内中学校に入学する生徒を対象に祝品の贈呈: 鞆及びヘルメット(61名分))

新入園幼稚園児祝品贈呈

16万円

(村内幼稚園に入園する園児を対象に祝品を贈呈: 鞆(44名分))

新入学小学生祝品贈呈



195万円

(対象者46名に対しランドセルを贈呈)

一小28名 二小18名

*千円単位は四捨五入で掲載しております

一般質問

6人の議員が村政を問う

▼一般質問とは

行政のさまざまな課題等について、議員が自らの提言も含めて村に考えを聞くこと。

1. しらいし まさお 白石 正雄 6 ページ

- ・ 農政転換米増産
- ・ 輸入食品の安全
- ・ 自治体運営の民営化について
- ・ 学校給食センター

2. つむらや りょういち 円谷 亮一 7 ページ

- ・ 企業版ふるさと納税の活用
- ・ 認知症予防の取組み
- ・ ナラ枯れ対策

3. かとう けいこ 加藤 恵子 8 ページ

- ・ ボランティア活動に表彰を！

4. すずき やすひと 鈴木 保仁 9 ページ

- ・ ガソリン税暫定税率廃止に伴う財政への影響
- ・ 泉崎村空き家対策

5. きのうち さとる 木野内 悟 10 ページ

- ・ 未来の農業を考える
- ・ ふるさと納税

6. あんどう あかね 安藤 茜 11 ページ

- ・ 学校における生理用品

農政転換米増産

白石 米騒動と言われる米価格の暴騰は、生産者には史上最高の価格ですが、消費者の5キロ当たり購入価格は4,000円以上になると考えられる。消費者から悲鳴が上がるのではないのか。コメ増産の閣議決定による新たな増産対策と村民に対する消費者米価対策について聞きたい。

村長 8月5日に石破首相より減反から増産への意向が示されたが、消費者米価対策の具体的施策等については論じられていない。村としては、今後の国・県の動き、近隣市町村の状況を注視し、対応を検討していきたい。生産者の米政策については農業政策が大きく見直される過程における様々



白石 まさお 議員

な情報の把握に努め、有益な事業を模索し推進していきたい。

白石 消費者米価対策として、福岡県の小郡市では、政府の備蓄米を精米し5キロ袋に詰めて各家庭に届ける「お米のお届け便事業」を始め、市内の住民税非課税世帯と就学援助世帯、合計5,500世帯に8月末までに届けを済ませている。政府機関や農協などの話合いを通して泉崎村としても検討すべきだ。コメ増産対策として、農機具を購入する際の補助金支給事業、復田するための機械や農機具を支援する補助事業創設が必要。

輸入食品の安全

白石 2022年度で輸入食品総量の91.6%は検査なしで入ってきている。しかも人体に有害であることが判明した食品が全量流通して、消費者の口に入ってから明らかにになったなどというのが1年間で17件もあった。アメリカやオーストラリア産の米や牛肉、豚肉、冷凍食品などから成長ホルモン

剤や有害物質が検出されている。地元産の食材を使うことが大事だと思うが、学校給食や保育所における輸入農産物や輸入冷凍食品、超加工食品の利用状況はどうなっているか。

教育課長 村独自として規制はしていない。学校給食で提供した6月の輸入農産物は、アメリカ産のオレングラ4回、インドネシア産のマッシュルーム水煮2回、タイ産のパイナップル缶詰1回、フィリピン産のバナナ1回。7月はポルトガル産のグリーンピースを1回利用している。輸入冷凍食品は、6月に、エクアドル産のブロッコリー2回、韓国産のブリ1回、韓国産のヒジキ1回、ノルウェー産のサバ1回。7月は、エクアドル産のブロッコリー2回、ノルウェー産のサバ1回、タイ産のパイナップル1回それぞれ利用している。超加工食品は、6月は、食パンなどのパン類4回、ハンバーグ、ハムカツ、タコ焼、シュウマイをそれぞれ1回利用している。7月は、パン類を3回、焼きギョーザ、春巻、豆腐ハンバーグ、

焼きそばをそれぞれ1回利用している。

子ども支援課長 保育所の給食は、委託事業所の栄養管理士が献立を作成し、提供している。給食以外に10時は主に飲物、3時は主にパン類のおやつが提供されている。輸入農産物は果物。グレープフルーツはトルコ・イスラエル・アメリカ産で、6月は3回、7月は2回使用。オレンジはアメリカ産で、6月は3回、7月に3回。キウイフルーツはニュージーランド産で、6月は3回、7月は1回使用。バナナはフィリピン産で、6月は5回、7月は4回使用している。輸入冷凍食品は魚類となり、サケはチリ産で、6月は3回、7月は1回使用。ホッケはニュージーランド産で、6月は1回、7月は2回使用。サバはノルウェー産で、7月に1回使用している。超加工食品の対象はおやつ関係のパン類になり、蒸しパン・あんパン・食パン・ワッフル・コーンフレーク・コッペパン・クッキー・ブルーベリーケーキ・メロンパン・食パンラスク・スコーン・クラッカー・

煎餅・ココアクッキー・マレードケーキなどをそれぞれ提供している。

学校給食センター

白石 一昨年の12月議会以降、学校給食に係る問題をあらゆる面から議会で取り上げてきた。子どもの発達障害が食に係る指摘がされる中で、センター方式は将来に悔いを残すのではないか。自校方式に大転換する考えはないか。

教育課長 令和6年度に建設用地を購入し、今年度は5月15日に学校給食センター建物の基本施設設計業務を発注。直近では敷地造成及び排水路整備工事請負契約の締結について、8月7日の臨時議会において議決をいただき、令和8年度の建物建設に向けて取り組んでいる。自校方式への方針転換はありません。

この他、放課後児童クラブ民営化問題、ごみ収集所設置公費負担、小中学校や村民に対する猛暑対策について質問いたしました。



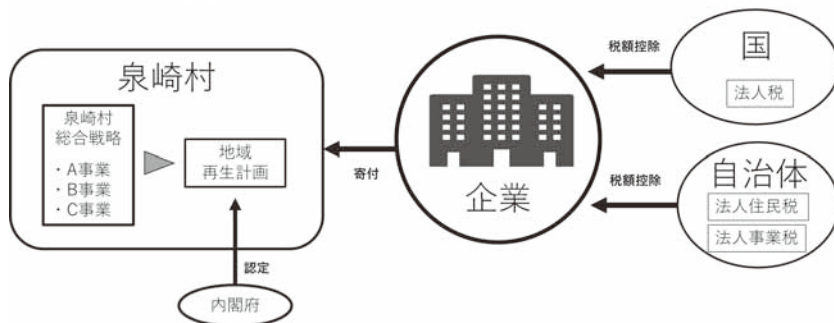
つむらや りょういち
円谷 亮一 議員

企業版ふるさと納税の活用

円谷 企業版ふるさと納税は、企業にとっては社会貢献の機会となり、自治体にとっては地域課題の解決に向けた資金を確保する有効な手段となるものである。本村においてもこの制度を活用すべきではないか？

村長 泉崎村では、令和8年度からの企業版ふるさと納税の活用に向け、本年度は現行の総合戦略の見直しと、地域再生計画の策定、そして国の認定を受けるための申請の準備を進めている。今後、駅周辺開発等の地方創生に向けた大型事業が予定されていることから、

企業版ふるさと納税活用の流れ



企業の皆様にも協力いただきながら、大型事業の財源にも活用していきたい。

認知症予防の取り組み

円谷 高齢化が急速に進む中、認知症は本人や家族の生活の質に大きな影響を与えるだけではなく、医療や介護など社会保障制度全体にも大きな負担を及ぼす課題となっている。本村における認知症予防の取組について伺う。

保健福祉課長 平成14年より村内9か所で元気はつらつ教室を実施。フレイル予防の体操や、認知症予防の話を聞いたり、歌やリズム、踊りなど、頭や体を使うことで体力維持、認知症予防につながっている。

また、村が泉崎村社会福祉協議会へ委託し、毎月防災センターと関和久集会所において、つながるカフェを開催。認知症ご本人やご家族、地域の皆さん等に参加してもらい、話をする、話を聞いてもらう、認知症について知ることのできるカフェスタイルの交流の場

を提供している。

さらに、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する応援者を広めることを目的に、認知症サポーター要請講座を実施している。



ナラ枯れ対策

円谷 県内でナラ枯れが急増している。本村におけるナラ枯れの現状と対策は？

村長 ナラ枯れの原因は、カシノナガキクイムシとい

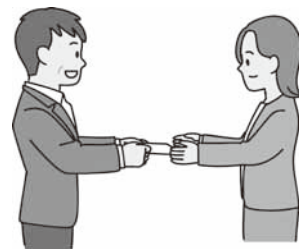
う昆虫がナラ菌という病原菌を木の中に運び込むことによって引き起こされる樹木の伝染病。現在、鳥峠、カヲト山に被害が確認されている。令和7年5月に被害調査を行ったところ、257本の被害木が確認された。これまで危険木に対しましては伐採等に対応しているが、むしろ被害が拡大している状況にあり、小規模の対処療法では到底追いつかないことから、抜本的な対策を講じる必要があると判断し、県が実施する保安林改良事業を検討してまいりたいと考えている。この事業は、被害木の伐採、撤去に加え、新たな10種の植栽により抵抗性のある森林を育成するもので、被害の解消に加え、将来的に土砂流出防止機能の向上並びに山頂部の生活環境保全林の被害拡大防止にも効果が期待できるものと考え、令和8年度において事業要望申請を行ってまいりたい。

ボランティア活動に表彰を！

加藤 村では、功労者への表彰、敬老会では75歳以上の招待者、米寿対象者、金婚対象者へ記念品や慶賀状などが贈られています。村内には、祭りや伝統行事の支援として準備から当日の手伝い、子どもたちに出し物の指導をしてくれる方、清掃活動、環境保全として子どもたちの通学路の草刈り、空き地や公園などの草刈りをしてくれる方、近隣の独り暮らしの高齢者のお宅の木の伐採や、冬には雪かきなどをしてくれる方、認知症や高齢者のために行われている「つながるカフェ」



かとう けいこ 議員
加藤 恵子



では、ボランティアで紙芝居の読み聞かせをしてくださったり、出し物をしてくださる方、幼稚園や小学校と連携し、登下校時の見守り、卒業生に折り紙で折った花やランドセルを全員にプレゼントしてくれたり、昔遊びの指導をしてくださる方、花いっぱい運動の花が足りないとか寄付金を集めたり、近隣の市町村の子ども食堂への支援金を集めるために尽力している方など、年齢を問わず、私が知っているだけでもこんなにいらっしゃいます。

そこで、伺います。こういう方々へ功労賞や敬老会に組み込んで表彰をさせていただきませんかでしょうか。

総務課長 現在、村の表彰

規定に基づき、村政の進展と公共の福祉に貢献し、長年にわたり顕著な功績があった方を対象に表彰を行っています。

この表彰の種類は、自治功労のみならず、教育、文化の交流に貢献された方、社会福祉や公共事業に尽力された方、治安の維持、非常災害時の防護に当たった方などが該当いたします。

過去に表彰を行った事例として、①令和2年 民生児童委員として長年社会福祉行政に貢献へ社会福祉功労表彰 ②平成30年度 ボランティア活動として和太鼓の指導をしていた方

③平成24年度 教育文化功労をそれぞれ表彰しております。この他にも、消防・防災活動・交通安全や防犯活動など、地域貢献を献身的に続けられた方々に、善行功労賞を贈るなど毎年11月に表彰式を行っているところであります。

現在、様々な分野の方を

対象に、村に対する貢献度などに基づき、村の表彰委員会で審議をし、表彰する形を取っておりますが、祭りや伝統行事の支援やボランティア活動などの地域貢献活動をどのような形で対象にするかなど、今後、検討してまいりたいと考えております。

加藤 私の知らなかった様々な表彰がされているんだなと分かりました。

これから、ボランティア活動などの表彰も検討していくということ、村内には、他にも色々人々のため、村のため、地域のために頑張っている方がたくさんいらっしゃると思います。人のためにやっていることが感謝されたり、喜ばれたりすること、自分も嬉しくなりまして、体を使うボランティアだと、動くことで筋力もついたり健康にもつながります。人と関わることで情報を得たり、感情が落ち着いたり、経験を重ねるこ

とで日々の生活が充実できるのではないのでしょうか。そこに表彰をしていただけたら、本人のモチベーションも上がりますし、やりがいを感じることができると思います。また、自分も表彰されたいと意欲が湧き、ボランティア活動に興味を持つ方が増え、支援の輪がひろがっていったらステキなことだと私は思います。

表彰者は、村の条例に基づいて決められていると思いますが、村内の各自治組合や幼稚園、小学校などから推薦していただいたり、広報で自薦・他薦を問わず募集し、審査し決めるなど、もっと広い分野で表彰していただきたいと切に願います。



ガソリン税暫定税率廃止に伴う財政への影響

鈴木 ガソリン暫定税率廃止の協議が行われ法案が施行される11月時点でガソリン暫定税率が廃止される事、実際廃止されるまでの間、補助金を活用し段階的に価格を下げるとし現場の混乱を避ける事が盛り込まれた。

今回の減税では、軽油税が除外されており運送業からは落胆の声と配送費用の高騰が危惧された、最大1兆円の減収分の穴埋めが問題。福島県では年間5億3千万円、県内59市町村では総額3億5千万円が減るとの試算が出ている。



鈴木 保仁 議員

暫定税率が廃止された場合、どのような影響が予測されるのか。

村長 年内に実施される見込みとなっており、全国知事会などは恒久的な代替財源の確保を前提に議論を進めるよう与党に要請したところ。廃止される事による影響がどのように出るのか注視している。

鈴木 ガソリン暫定税率廃止後の県、地方自治体の減収分の財源確保の問題が浮き彫りになり今年中の財源の協議が見出せるのか不安視される。

暫定税率廃止後の減収に對する対応は考えているのか。

村長 暫定税率廃止後の減収分の対応ですが、減収になるのは地方揮発油譲与税であり、現時点では、国からの減収を補填するための具体的な措置は示されておりませんので一般財源で補

うと考える。

鈴木 暫定税率廃止に伴い歳入の減収、性質別歳出・目的別歳出に影響が出ないよう国・県に働きかけていただきたい。また財源の確保は未定であるため、今後の動きにも注視し行動していただきたい。

泉崎村空き家対策

鈴木 全国でも人口減少・少子高齢化、また人口が増えている大都市圏、各地方都市も含む自治体では空き家問題が深刻。

泉崎村空き家バンク登録状況。

総務課長 空き家・空き地の抑制と定住促進による地域の活性化を図る事を目的として令和5年6月に空き家・空き地バンク設置要綱を制定。令和7年8月末時点において、空き家・空き地バンクに登録された情報の提供希望の方について、購

入希望者1名。賃貸希望者1名合計2名。登録物件0件。マッチングに至っていない状況。

鈴木 泉崎村は立地条件も良く登録が増えれば少しは解消されるのではないかと。村内を歩いていると数年前より空き家が増えている。村にある空き家数を把握しているのか。

総務課長 空き家の件数調査を行ったのが約10年前であるため、現時点では当時より多くの空き家が存在していると考えられます。期間も大分経過している事からも、再度、空き家の実態調査について検討してまいりたいと考えている。

鈴木 現実的に空き家が増えているのは間違いないのかと思う。空き家バンク登録云々ではなく、そのまま放置されている空き家が相当数増えているのではないかと。長期的に空き家となれ

ば建物が傷み、最悪倒壊する危険性もこの状況は否定できない。

今後の空き家対策は。

総務課長 泉崎村において空き家対策にかかる支援制度はありませんが、近隣市町村においては、福島県空き家対策総合支援制度を活用した空き家の改修・除却等における費用の補助制度を制定している市町村もある。

本村においても空き家の登録だけではなく、空き家の有効活用を図る為、制度の導入について検討したい。

鈴木 空き家問題は大変な問題になってくる。長期放置空き家についての対策は、今後の課題。今後増える空き家問題は泉崎村でも例外ではありません。今後、現場の状況を確認し増える空き家対策を実行していただきたい。

未来の農業を考える

木野内 令和の米騒動を国は重く受け止め増産の考えを示し、それに伴い生産者側には持続可能な米生産をお願いされます。一方で、令和8年産以降、増産の影響で米価を不安視する生産者も多くみられますが、我が村にとっても同じですが、村の見解を伺う。

村長 市場の需要に応じた米の生産を促すとともに、農家への直接支払いを導入して所得を安定させることが必要であると思っております。農業従事者の減少対策として、若者の新規就農支援やスマート農業の推進、圃場の大区画化等によるコスト削減及び農作業の効率

化を進め、持続的な米生産の基盤を強化する必要があります。と考えます。

木野内 昨年来、地域計画が進められ、地権者、耕作者の意向を踏まえた計画が完了となっておりますが10年後の田畑の耕作者または、担い手は現在と比較してどのくらいの方が従事しているかと予測しているのか伺う。

産業経済課長 意向調査の回答が1割に満たず、十分な将来見通しが得られなかったため、ほぼ現況を基に策定したものであります。10年後の耕作者数については、予測は困難であります。国や県の統計のとおり、高齢化や離農により減少傾向が見込まれ、村においても同様と考えており、今後は地域計画のブラッシュアップを図り、担い手の確保や農地の有効活用を推進してまいります。

木野内 村全体の約4割が田畑であり、米は増産を示され、畑は今後現状維持すら容易ではないことを踏ま

え、持続可能な農業生産をどのように考えているのか伺う。

村長 やはり担い手の確保が急務であると考えております。国の新たな基本計画におきまして、親元就農や雇用就農の促進により49歳以下の担い手を確保すべく対策を検討するとしており、また、本村の認定農業者の皆様や、地域計画において担い手に位置づけされている皆様には、農業の魅力を対外的に発信していただき、魅力ある農業への誘導をお願いしたいと考えます。

木野内 持続可能な農業に必要なものと考えたときに、担い手、雇用、適正価格、販売、効率化、省力化があると思います。米の栽培方法では、効率化、省力化という意味で注視されているのが、湛水、乾田直播がある、乾田直播においては、

苗作り、代かき、田植えの工程が省かれ、規模拡大に向けての手法とされていきますので、我が村の将来の農

業を見据えた取り組みとして伝えておきます。

ふるさと納税

木野内 村のふるさと納税返礼品をもっと多くの農産物（米、野菜類）など、また泉崎村と言ったら「そば」と思われる程、浸透してきただと思うので、そばを乾麺化し、返礼品に加えてみてはと思うが見解を伺う。

産業経済課長 今年度におけるそばの作付け面積は約37haとなっております。泉崎村でのそばも定着してきたと感じてはおりますが、村といたしましては、生そばの提供を基本と考えていることから、現段階では乾麺化の構想はございませんので、ご理解いただきたいと思います。

木野内 乾麺化する意図もありまして、将来、畑が空いてくると予測されますので、畑を有効利用しながら、そばを特産品とする一つの提案として述べさせていただきます。

【乾田直播の流れ】



乾田直播 42日後



72日目の様子



122日目様子



162日目 収穫

学校における生理用品



あんどう 安藤
あかね 茜 議員

安藤 以前の一般質問で、小学校、中学校の女子トイレに生理用品を設置してほしいという質問がありましたが、教育長の答弁では、必要に応じて養護員から手渡しで頂くということでした。ですが、私から設置して頂きたい理由として物価高騰による購入時のストレスや急な生理に対応できず友達にも養護員にもなかなか言えず困っている生徒がいるということ、日によっては養護員が席を外していて、保健室に入れずもらえないということでした。

また、特に思春期の月経は、周期も不安定で、いつ来るか分からない中、トイレに生理用品があると分かっていたら、どれほど安心して過ごせるのでしょうか。それは、公共施設内でも、村内の生徒、または、村内、村外の女性が使用するのと同じことが言えるかと思えます。近隣町村では、既に設置しているところもあります。

現在では、内閣府の調査によると、生理の貧困対策に取り組む自治体が年々増加しており、全国的に広がっているようです。そこで、2つの質問をいたします。

- 1、村内小学校、中学校の女子トイレの生理用品設置について。
- 2、村内における公共施設内の女子トイレの生理用品設置について伺います。

教育課長 要旨の①村内小学校、中学校の女子トイレ

の生理用品設置について。現在、本村の小中学校においては、女子トイレに生理用品の設置はしていないところであります。保健室に保管して、児童生徒の求めに応じて手渡しをしております。

小中学校では、保健室に入室した児童生徒は、養護教諭に対して体調について不安なことを相談する場合や対応の仕方について具体的なアドバイスを受けるといった事例があるということでございます。

なお、学校においては、養護教諭を中心に教職員が一体となり、子どもたちの悩み、不安を気軽に相談できる関係性と環境づくりに努めております。また、現場としましては、子どもたちに直接向き合い、体調管理に配慮すべきこと、抱えている悩みに寄り添い、丁寧な支援とアドバイスができる環境が大切であると考

教育委員会としても、そのような現場の思いを受け止め、現在の学校における対応と環境を継続していきたいと考えております。

総務課長 村内公共施設の女性用トイレへの生理用品の設置につきましては、役場来客用トイレのほか、保健福祉総合センター、公民館、図書館、資料館においては生理用品を設置し、定期的に補充をしているところであります。防災センターやトレーニングセンターにおいては、設置はしておりませんので、施設利用者の状況に応じまして、今後、設置について検討してまいりたいと考えております。

安藤 小学校、中学校の方は現状維持ということ、公共施設はまだ設置していない所があるということですが、経済的な理由で生理用品を購入できない生徒、または急に生理が来ても困

ないように、手に取りやすい環境を作る事によって、必要な子が必要なときに自分の意思で使えるようになると生徒のストレス軽減や安心感につながると思います。公共施設の方では、利用する方が沢山いらっしゃると思いますので、早急に対応して頂ければと思います。是非、検討をお願いいたします。



常任委員会報告

事業推進と

災害対応

経済文教常任委員会

＊所管する各課から令和6年度
泉崎村歳入歳出決算の認定で事
業実績の各項目の詳細な報告、
また令和7年度泉崎村一般会計
補正予算に対する質疑を行いま
した。質疑のあった項目は次の
通りです。

- ・産業経済課 農地中間管理機
構関連農地整備事業換地業務委
託料及び農業用施設災害復旧費
太田川地内農業用施設災害復旧
工事など

- ・建設水道課 橋梁費橋梁点検
委託料及び泉崎駅周辺整備費交
流拠点複合施設整備基本構想策
定業務委託料

- ・教育課 令和6年度泉崎村歳
入歳出決算の認定の中で事業実
績の埋蔵文化財試掘・確認調査
令和7年度泉崎村一般会計補正
予算 農村環境改善センター管
理費の落雷修繕費



経済文教常任委員会

前年度から見えた課題と子育て支援

総務厚生常任委員会

＊所管する各課から令和6年度
泉崎村歳入歳出決算の認定で事
業実績の各項目の詳細な報告、
また令和7年度泉崎村一般会計
補正予算に対する質疑を行いま
した。

- ・令和6年度泉崎村歳入歳出決
算の認定

- ・ふるさと納税 昨年より約100
万円減り、返礼品の種類と在庫
数に課題があるのではとの意見
が出されました。

- ・滞納金に関して 税金、公共
料金を足すと2億5千万円ほど
あり、昨年より600万円ほど回収
され、一定の評価となったが、
更なる回収努力もお願いしまし
た。

- 令和7年度泉崎村一般会計補
正予算(第2号)(新規事業)

- ・子育て短期支援事業保険料、
子育て支援事業委託料とは？
親が何らかの理由で一時的に子
どもを見れない時に社会福祉法
人白河学園に子どもを預けられ
る事業

- ・自主防災組織補助金とは？
地域の自主防災組織研修や訓練
の実施。必要な資機材を配備す
る経費などこの補助金が充てら
れる。

- ・子ども支援課 新設されて約
半年、仕事の内容、人員数につ
いて伺ったが、慣れない事も大
いにあるということで、一年経
過後、明確な状況が報告できる
とありました。

なお、「災害対策・各課の人
員定数・所管する課の事務につ
いて」は引き続き、調査、検討
を進める事といたしました。



総務厚生常任委員会



第19回市町村対抗福島県軟式野球大会へ応援に行つて参りました。一回戦を勝ち進みましたが、二回戦で惜しくも敗退してしまいました。一生懸命に戦う姿に感動し声援も大きくなりました。選手の皆さん、関係者の皆様お疲れ様でした。

**市町村対抗
軟式野球大会応援**
福島市 あづま球場
対国見町（一回戦）
小野町 小野あぶくま球場
対大熊町（二回戦）



第12回市町村対抗福島県ソフトボール大会へ応援に行つて参りました。チームの皆さんは村の代表として一生懸命プレーしておりましたが南相馬市に6・10で初戦敗退してしまいました。来年は、この悔しさをバネに勝利を目指し、頑張つていただきたいと思います。選手の皆さん、関係者の皆様お疲れさまでした。

**市町村対抗ソフト
ボール大会応援**
相馬市 光陽ソフトボール場
対南相馬市

【訂正のお知らせとお詫び】
令和7年8月1日発行の議会だよりNo.65の記事に左記のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。
◇訂正箇所2ページ
給食センター建設予定地写真下
誤…柵内浦山地内
正…柵内裏山地内



皆様の健康長寿を祈念。
お祝いに参加致しました。

泉崎村敬老会

＊次期定例会の予定＊

開会12月4日(木)

一般質問12月9日(火)/議案審議12日(金)予定



『年長 バルーン』



『プログラム』

幼稚園運動会

○9月27日(土)

元気ハツラツ泉崎っ子!!

学習発表会

○10月11日(土)



『第二小学校』



『第一小学校』

白樺祭

○10月18日(土)



『2年生 アリスとすずの不思議な職場体験』



『3年生 アラジン』

※村内各学校からご招待いただきました行事へ参加し元気とパワーをもらいました!

編集後記

鈴虫が鳴く秋となりました。ふと見渡すと山々では紅葉が進み、田んぼでは、黄金色の稲穂の稲刈りが始まり収穫が終盤となっています。日本には『春夏秋冬』がありその季節で楽しむ事、感じる事が出来ます。私の感じる秋は、この時期に行われる幼稚園運動会・小学校学習発表会・中学校白樺祭・収穫祭等を拝見、参加する事でより一層秋を感じています。また、食欲の秋・読書の秋等、様々な秋があるのでないでしょうか。すでに季節は秋から冬へと季節が移り替わり始めましたが、もう少し秋を楽しみ、感謝したい出に残る秋としたいと思います。(文責 鈴木)

編集・発行責任者

議長

編集委員会

委員長

副委員長

委員

岡部 英夫
野崎 孝隆
英夫